

「高め合い 認め合い 楽しく学び合う 小鹿野小学校」

# 学 校 だ よ り

学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子  
小鹿野町立小鹿野小学校 第4号 平成30年7月2日発行

1学期最後の7月を迎えました。6月は蒸し暑い日と涼しい日が交互に入り交じり体調を崩す児童が多くいました。また、土・日曜日の疲れが残っているせいか、月曜日はだるそうな姿が見え、特に授業中の姿勢にそれが現れていました。その様な中で、1学期の仕上げの7月を迎えます。児童が身につけるべき事、やるべき事をしっかりと行って夏休みには入れますよう保護者の皆様のお力添えをよろしくお願ひいたします。

6月中の本校の先生方との会議で、次のような話を紹介しました。ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

## 「サキちゃんのママのビデオレター」

サキちゃんのママは重い病気と闘っていたが、死期を悟ってパパを枕元に呼んだ。その時サキちゃんはまだ2歳。「あなた、サキのためにビデオを3本残します。このビデオの1本目はサキの3歳の誕生日に、2本目は小学校の入学式に、そして3本目は〇〇の日に見せてあげてください。」まもなくサキちゃんのママは天国へと旅立った。

サキちゃんの3歳の誕生日。1本目のビデオがかけられた。(テレビの画面に病室のママの姿が映し出される。)  
「サキちゃん、お誕生日おめでとう。ママ、うれしいなあ。でもママはね、テレビの中に引越したの。だから、こうやってしか会えないの。パパの言うことを聞いておりこうさんでいてね。だったら、ママ、また会いに来ます。」

サキちゃんの小学校の入学の日。2本目のビデオ。「サキちゃん大きくなったね。おめでとう。ママ、うれしいな。どんなにこの日を待っていたか。サキちゃん、ちゃんと聞いてね。ママが今住んでいる所は天国なの。だから、もう会えない。でもね、パパのお手伝いがちゃんとできたら、ママもう1回だけ会いに来ます。じゃあ魔法をかけるよ。エイッ!ほうら、サキちゃんは料理や洗濯ができるようになりました。」

そして、3本目のビデオ。そのタイトルはこう書いてあった。

新しいママが来た日のサキちゃんに。サキちゃんが10歳の時、パパは再婚し新しいママが来た。3人一緒に3本のビデオを見つめた。なつかしいママの顔が映し出された。「サキちゃん、おうちの仕事頑張ったね。えらかったね。でも、もう大丈夫。新しいママが来たんだから。・・・サキちゃん、今日で本当にお別れです。サキちゃん、今、身長はどれくらい?ママには見えない。ママ、もっと生きたい・・・。あなたのために、おいしいものをいっぱい作ってあげたい。あなたの成長を見つめていたい。じゃあ、サキちゃん、これが最後のママの魔法です。それは、『ママを忘れる魔法』です。ママを忘れて、パパと新しいママと楽しい暮らしを作ってください。では、魔法をかけます。1・2・3、ハイッ!」そこでビデオは終わった。しかし、サキちゃんにこの魔法はきかなかった。パパと新しいママにもきかなかった。ママはみんなの心の中にちゃんと残っていた。

そして、今度はサキちゃんが主役の4本目のビデオが作られたのだった。天国のママに見てもらうために。

自分で直接してあげることができない母親のつらさともに、注げるだけの愛情を捧げ注ごうとする母親深い気持ち痛いほど伝わってくる話です。生意気なことと思われてしなうかもしれませんが、是非、保護者の皆様には、今、持てる時間の中で、できるだけ一緒の時間、愛情をお子様注いでほしいと思います。注いでいただいた分だけ、お子様は安定した気持ちで学校での活動を笑顔で行うことができます。愛情は人間の心づくりに大切。しっかりと心に伝わったことは消えずに、今後何年かの間、子ども自身の中で支え生きて働く力となってきます。我々教職員も、保護者の皆様と同じ100%とはいきませんが、愛情を注ぎ児童に接して参ります。ご協力ください。(校長 矢 鳥 泰)